

平成 28 年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福社会

認知症対応型通所介護

大津みやび野デイサービスセンター

平成 28 年度 事業目標

「個々の状態に合わせた支援をもとに楽しみのある生活を図る」

個々に認知症症状の違いがあるが、身体や心神状態に合わせた支援を行うことで、楽しみを持って利用できるように、全職員が認知症に関する専門的知識を身につけ、より良いサービスの実施を目指す。あわせて、お菓子作りなどの家庭的な取り組みからドライブ外出などの個別に対応していくことで、生活意欲の維持・向上、事業利用への関心を高めるとともに認知症症状の維持、緩和に努める。

- (1) 個々の心身状態を把握するため、家族や担当ケアマネジャーなど関係者と情報を共有し、状態に合わせた支援を目指す。
- (2) 余暇活動やレクリエーションの充実のため、2 ヶ月に 1 回程度、お菓子作りを企画し、個別対応として、随時、ドライブ外出も行っていくことで、活動や取り組みへの意欲的な参加につながるように努める。
- (3) 専門的知識や情報を共有する機会として、毎月の職員会議にてカンファレンスを実施し、連絡ノートを活用することで、職員間でのケアや意識の統一に努める。

平成 28 年度 事業報告

- (1) 随時、家族や担当ケアマネとの情報共有を行うことができ、家族より歩行能力の低下を心配されている方に対しては個別に歩行訓練を兼ねた施設周辺散歩や階段昇降運動を実施するなど本人の状態に合わせたケアを取り組むことができた。また、今後はアンケートも活用し、さらに本人の状態に合わせたケアを行うことが課題である。
- (2) 2 ヶ月に 1 度のお菓子作りは継続して取り組み、個々の身体機能に応じて職員と一緒に作業を楽しんでいただけた。また、目の前で調理される内容は普段、食欲の少ない方でも「もっと欲しい」「美味しい」と話される評価もいただけた。外出意欲の向上をはかるために外出支援を定期的実施し、外出先の公園等で歩行訓練も実施できた。日頃の余暇活動に対しては個々の状態に合わせたレクリエーションや作品づくりを実施できているが、バリエーションが少ないので、追加していくことが課題である。
- (3) 専門的知識については研修で学んだ内容については復命書を基に他職員に説明するとともに毎月の職員会議だけでなく、随時のカンファレンスを実施、毎日のケアの確認については連絡ノートを活用することで、職員間での情報の共有・共通認識を行ったことで統一したケアを実施することができた。

平成 28 年度 事業運営総括

1. 利用実績について

年間の稼働率は 80.8% であり、利用実績としては平成 27 年度の 78.6% から増加できている。また、新規利用者もいるが、多くの方が長期間継続利用してくださっており、2 ヶ月毎のお菓子作りや外出支援が利用者及び家族、ケアマネジャーから評価してもらっている結果と思われる。

2. 利用者状況について

平均介護度は 2.08 であるが利用実績で述べたとおり、長期間複数回利用してくださる方の割合が多いため、今後さらに認知力の低下が進行する可能性もある。

認知症対応型通所介護は介護報酬も通所介護と比べると高く設定されており、認知症に対して専門性の高さが求められる。常に付き添いが必要な利用者も多いが、職場内の勉強会等を積極的に推進し、各職員の認知症に対する知識と理解をさらに深め、より個別性の高いサービスを実施することを求められていると感じる。

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月	お花見	計算ドリル 漢字トレーニング 塗り絵	ハンドマッサージ 回想カルタ
5月	世代間交流 園芸	計算ドリル・塗り絵 書道(ペン)習字	風船バレーボール 音楽療法 百人一首
6月	ドライブ ・お菓子作り	計算ドリル・漢字トレーニング 塗り絵	輪投げゲーム 風船バレーボール もぐらたたきゲーム
7月	ドライブ 世代間交流	書道(ペン)習字 塗り絵・計算ドリル	ブロック積み 回想カルタ ボーリング
8月	ドライブ・お菓子作り 夏祭り	カラオケ・塗り絵・計算ドリル 書道(ペン)習字	音楽療法 風船バレーボール 百人一首
9月	ドライブ 世代間交流	書道(ペン)習字 カラオケ・塗り絵・計算ドリル	ビンゴゲーム ブロック積み ボーリング
10月	祭り見学	漢字トレーニング 計算ドリル・塗り絵	絵合わせゲーム 輪投げ 風船バレーボール
11月	ドライブ:紅葉観賞 お菓子作り	計算ドリル・漢字トレーニング 書道(ペン)習字 カラオケ・塗り絵	旗揚げゲーム ボール体操 棒体操
12月	クリスマス会	計算ドリル・漢字トレーニング 塗り絵	ボーリング パズル ブロック積み
1月	初詣 お菓子作り	計算ドリル・漢字トレーニング 書道・塗り絵	風船バレーボール 回想カルタ
2月	節分豆まき	計算ドリル・漢字トレーニング ペン習字・塗り絵	風船バレー 輪投げ ボール投げゲーム
3月	ドライブ:梅見観賞 世代間交流	計算ドリル・漢字トレーニング ペン習字・塗り絵	手指体操 ボール体操

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	ドライブ外出 お誕生日会	書道・ちぎり絵	ビデオ体操・散歩・口腔体操 メドマー、マイクロサーミー ラジオ体操

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 2.08》

平成29年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	1	4%
要支援2	0	0%
要介護1	9	33%
要介護2	8	30%
要介護3	6	22%
要介護4	2	7%
要介護5	1	4%
合計	27	100%

月間利用実績(人数)

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	2	3	3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	27
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
要介護1	6	6	7	7	8	9	9	8	10	9	8	9	96
要介護2	5	5	6	6	6	7	5	7	9	9	9	8	82
要介護3	7	6	6	7	6	6	6	7	6	6	6	6	75
要介護4	6	6	6	5	5	4	4	3	3	3	2	2	49
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	27	27	29	29	29	30	28	29	30	30	28	27	343

月間利用実績(延べ人数) 《稼働率 81.3%》

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	9	12	14	12	12	12	11	12	1	3	7	4	109
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7
要介護1	49	46	46	50	56	59	58	63	60	55	75	59	676
要介護2	51	47	54	64	55	60	52	55	70	81	57	87	733
要介護3	86	84	88	92	80	80	81	83	66	72	92	78	982
要介護4	46	53	55	47	41	40	41	28	26	18	27	23	445
要介護5	4	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	51
合計	245	247	261	269	249	255	247	246	227	240	262	255	3,003

開所日数

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308

曜日別延べ利用実績

平成28年度

	月	火	水	木	金	土	合計
人数	532	511	547	375	463	544	2,973
割合	18%	17%	18%	13%	16%	18%	100%

1週当たり平均利用人員

平成28年度

	月	火	水	木	金	土	合計	1日平均
人数	10.4	9.9	10.8	7.4	9	11	58.5	9.75
割合	18%	17%	18%	13%	15%	19%	100%	—

回数別利用人員

平成29年3月31日現在

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	合計
人数	8	6	8	4	1	0	27
割合	30%	21%	30%	15%	4%	0%	100%

保険者の状況

平成29年3月31日現在

保険者	人数
姫路市	27
合計	27

年齢別構成状況

平成29年3月31日現在

	65歳以下	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上	合計
男	0	0	0	3	2	3	0	8
女	0	0	1	2	11	5	0	19
全体	0	0	1	5	13	8	0	27

日常生活状況

平成29年3月31日現在

区 分		実数	割合
歩 行	自立歩行	20	74.1%
	杖等の歩行補助器使用	5	18.5%
	車椅子使用	2	7.4%
食 事	自分で可能	23	85.2%
	一部介助	1	3.7%
	全部介助	3	11.1%
入 浴	自分で可能	13	48.1%
	一部介助	8	29.7%
	全部介助	6	22.2%
着 替	自分で可能	13	48.1%
	一部介助	8	29.7%
	全部介助	6	22.2%

区 分		実数	割合	
排 泄	トイレ	自分で可能	14	51.9%
		介 助	12	44.4%
	内おむつ使用	1	3.7%	
認知症老人		27	100.0%	

対 象 人 数	27
---------	----

職員間の内部研修の実施状況

研修名	研修内容	研修	内容	参加職種	参加人数	期 間	講師（職・氏名）
基本理念・接遇研修	法人理念・職務の心得・接遇・個人情報保護についての取り扱いについて			全常勤	36名	4月1日	施設長（細野欣之）
人権研修	身体拘束等人権意識について			介護職員 看護職員	53名	5月11日～5月18日 (4回)	介護支援専門員 (河崎文武)
食中毒研修	食中毒の原因、対策について			全職種	54名	6月8日～6月25日 (4回)	管理栄養士 (和田奈保美)
生活習慣病研修	産業界による健康診断の総評及びび癌について			全職種	57名	7月25日	嘱託医（久保精一郎）
リスクマネジメント研修 (ヒヤリハットについて)	ヒヤリハットの活用方法について			全職種	58名	7月26日～8月12日 (4回)	リスクマネジメント委員会 (生活相談員・濱下隆史)
排泄ケア研修	陰部洗浄の必要性及びその手順について			介護職員 看護職員	46名	7月6日～7月23日 (3回)	排泄委員会 ユニチャーム研修担当者
褥瘡研修	褥瘡の理解について			介護職員 看護職員	45名	8月3日～8月13日 (4回)	褥瘡委員会（看護師）
入浴介助研修	入浴マニュアル（入浴介助、準備、掃除、事前確認）について			介護職員 看護職員	29名	9月21日～9月28日 (4回)	入浴委員会
記録研修	記録（目的、種類、とり方）について			介護職員 看護職員	50名	10月19日～10月29日 (4回)	ユニットリーダー (各ユニットリーダー)
感染症対応研修	吐しゃ物処理対応について			介護職員 看護職員	52名	11月16日～11月26日 (4回)	ユニットリーダー (各ユニットリーダー)
看取りケア研修	看取りについての考え方やケアについて			介護職員 看護職員	30名	12月7日～12月24日 (4回)	介護支援専門員 (河崎文武)
食事研修	適切なとろみ剤の濃度及び使用法の統一について			介護職員 看護職員	35名	1月11日～1月28日 (4回)	食事委員会 ユニットリーダー 研修担当者
介護保険研修	介護保険制度の概要について			介護職員 看護職員	43名	2月8日～2月25日 (4回)	居宅介護支援専門員 (岸早希・安房加代子)
腰痛予防研修	腰痛対策について			介護職員 看護職員	21名	3月1日～3月7日 (2回)	株式会社たんぼぼ
リスクマネジメント研修	事故報告書及び危険予知について			全職種	20名	3月18日～3月29日 (4回)	リスクマネジメント委員会 (生活相談員・濱下隆史)

参加人数は併設事業所も含む。

法人研修

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
セイフティマネジメント研修	「セイフティマネジメント」と「リスクマネジメント」について(講義)	全常勤	43名	6月7日	株式会社CMI代表取締役 (丸岡義明先生)
介護業界とサービス研修	福祉産業、介護業界でのサービスについて(講義)	全常勤	76名	10月24日～10月28日 (3回)	勝原第二デザインサービス (管理者・辻勝彦)

参加人数は併設事業所も含む。

職員の外部研修の受講状況

研修名	研修内容	参加職種	参加人員	日付	期間	場所	研修結果の報告方法
新入社員接遇研修	接遇研修・自施設理念の理解と人権意識	介護職員	1名	5月13日	1日間	姫路市商工会議所	口頭・復命
平成28年度第一回認知症介護実践者研修	認知症介護実践者研修	管理者	1名	6月4日	5日間	総合リハビリテーションセンター	口頭・復命
平成28年度第一回認知症介護実践者研修	認知症介護実践者研修	管理者	1名	8月9日	3日間	総合リハビリテーションセンター	口頭・復命
平成28年度第一回認知症介護実践者研修	認知症介護実践者研修	管理者	1名	8月30日	1日間	総合リハビリテーションセンター	口頭・復命
平成28年度介護サービス事業者に対する集団指導	介護サービス事業者に対する集団指導	管理者	1名	10月26日	1日間	姫路市文化センター	口頭・復命
職員研修	メンタルマネジメントと自己覚知	管理者	1名	11月15日	1日間	姫路市医師会館	口頭・復命
平成28年度デイ部会職員研修会	初動対応に強い、考えるべき記録の書き方	管理者 生活相談員	2名	11月25日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命
平成28年度能力開発啓発セミナー	介護事業所におけるスパービジョン～キャリアアップの構築とキーポイント～	管理者	1名	12月9日	1日間	西はりま地場産業センター	口頭・復命
平成28年度デイ部会管理者研修会	役員改選・講演「地域支援事業」	管理者	1名	2月9日	1日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命
水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設者向け説明会	・砂防に関する防災情報収集について ・介護保険施設の非常災害対策・安全の確保について	管理者	1名	3月22日	1日間	神戸文化ホール	口頭・復命

避難訓練の実施状況

実施日	訓練種目	訓練内容
6月17日	みやび野エリア 合同火災訓練	避難経路と避難誘導の流れと他部署間の連携確認 通報装置や脱出シュートの確認 (隣接特養合同実施)
9月21日	みやび野エリア 合同火災訓練	避難誘導の流れの確認と他部署間の連携 マニュアルを活用しての自然災害時の対応確認 (隣接特養合同実施)
12月14日	みやび野エリア 合同火災訓練	避難経路と避難誘導の流れと他部署間の連携確認 通報装置や脱出シュートの確認 (隣接特養合同実施)
2月2日	避難訓練	避難経路と避難誘導の流れと他部署間の連携確認

苦情対応

受付日	苦情内容	解決方法
平成 29 年 3 月 4 日	<p>「連絡不備による説明不足について」</p> <p>以前、利用しておられた方が骨折による数ヶ月の入院後、退院され利用を再開する運びとなるが、骨折により身体状況に大きく変化が見られ、事業所での入浴が難しいと判断し、同法人の他デイサービスへの利用を勧めるが、その件についての連絡調整が不十分であり、また、家族及び担当ケアマネジャーに対しても十分な説明が行えていなかったため、利用を断られたのではないかと申し出を受ける。</p>	<p>① 家族及び担当ケアマネジャーに対して再度、詳細に説明を行い、連絡調整の不備について謝罪を行う。</p> <p>② 再度、同法人の他デイサービスと連携を取り、情報の伝達等を行う。</p>

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
平成 28 年 9 月 16 日	<p>「請求ミスについて」</p> <p>利用していない日に対して介護請求を誤って行ってしまう。請求書を確認した家族からの指摘で気づく。速やかに過誤請求し、利用者及び家族に料金の返金と謝罪行う。</p>	<p>① 毎日の実績入力時に確認する。</p> <p>② 月末の実績確認時に確認する。</p> <p>③ 介護請求明細書の印刷時に提供票と照らし合わせて確認する。</p>
平成 28 年 10 月 29 日	<p>「利用者の所在が不明」</p> <p>併設の他デイサービスとの交流会を実施し、終了後フロアに移動する際に、主の所在が不明となる。近隣を探索するが発見できず。しばらく後に他の職員が事業所から 1 km ほど離れた場所で発見する。</p>	<p>① フロアを移動する際には、職員で担当者を決めて対応する。</p> <p>② 移動後は利用者の人数確認を確実にを行う。</p> <p>③ 施設外へと出た際に探索出来るように本人の顔写真を管理する。</p>
平成 28 年 12 月 3 日	<p>「介護請求の過誤について」</p> <p>国保連合会からの通知により事業所で算定できない加算を誤って算定していたことが発覚する。速やかに過誤請求を行い、誤り分を返金する。</p>	<p>① 日々の実績入力間違いを確認する。</p> <p>② 請求書を作成する際には再度提供票と照らし合わせて確認する。</p>

発生日	事故内容	事故対策
平成 27 年 12 月 11 日	<p>「利用者の転倒」</p> <p>主が帰宅の為、玄関で靴を履き、送迎車に移動する時に下駄箱のスノコに躓き、左側から転倒し、左の額に直径 5 cm 程のたんこぶが出来た。直ぐに看護師確認行い、氷で冷やす等の応急処置をして長久病院受診する。</p> <p>頭部内部には異常なく額の傷のみではあるが浮腫が引くのに時間がかかるとの診断。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 声かけ歩行状態を確認し、手引きにて送迎車まで誘導する。 ② 動線上には障害物を置かないようにする。 ③ スノコを撤去する。